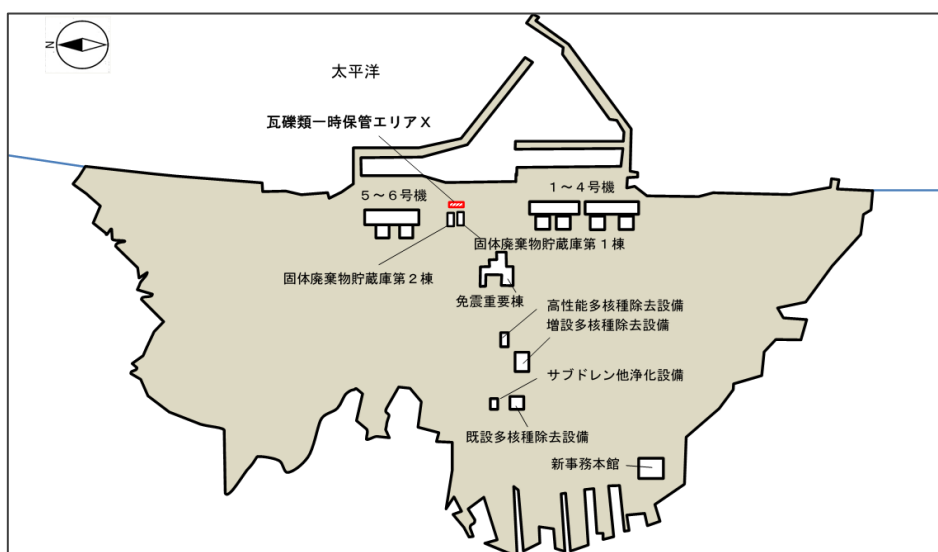


## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日  
令和3年7月30日（金）
- 2 確認箇所  
瓦礫類一時保管エリアX
- 3 確認項目  
瓦礫類一時保管エリアXの現況確認
- 4 確認結果の概要

瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）Pにおいて、保管されていたノッチタンクの一部の蓋がずれて放射性物質を含む雨水が流出した事象が発生したことから、屋外でノッチタンクを保管している一時保管エリアXの状況を確認した。（図1）

- ・ノッチタンクは2段積みで保管されており、一部のノッチタンクには錆や蓋の歪みが見られたが、確認した範囲で内容物の飛散、流出は確認されなかった。（写真1）
- ・現場確認時、当該ノッチタンクを雨除け用のシートで覆うための準備作業が行われていた。（写真2）
- ・東京電力によれば、屋外で保管しているノッチタンクは計417基、その内一時保管エリアXには30基を保管しており、7月8日に蓋の状況をドローンで調査した結果、1基の蓋がずれていたが、7月9日に目視の範囲でノッチタンク内に雨水がないことを確認するとともに、蓋を元に戻し、蓋がずれない対策を施したとのことであった。



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
一時保管エリアXに保管されている  
ノッチタンクの状況  
(南東側から撮影)



(写真2)  
ノッチタンクを雨除け用のシートで  
覆うための準備作業の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。